

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスすずらん		令和 8年 2月 25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用者様によって遊びたい活動が異なるため、室内活動と室外活動を組み合わせて行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		適切な配置を行っています。職員の体調不良や家庭都合など急遽休みになる場合、状況により人手が不足する場合があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		玄関の段差については必要に応じて利用者様の移動補助を行っております。靴箱やトイレなど写真やイラストを活用して視覚的にわかりやすい環境を整えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		おもちゃや室内の消毒作業は毎日行っています。室内だけでなく車内も清潔で心地よい環境を整えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		簡易クールダウン部屋を設け、利用者様の意志で1人になれる場所を確保できるようになりました。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日々の振り返りの中で利用者様の共通理解を深めています。また、月に1回職員会議を開き業務改善に取り組んでいます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎年度アンケート調査を実施して、保護者様の意向を把握できるように努めています。出来る限り改善へと繋げられるように努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日のミーティングでその日の支援内容及び振り返りを行い、職員間の情報共有を行っています。支援内容や利用者様の様子を記録に残し改善に努めています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	現在、外部評価は行っていませんが、必要に応じて外部評価を行ったり、見学やボランティアの受け入れを積極的に行っていきたくと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部、内部研修ともに積極的に参加している。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに公表をしています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		保護者様からのニーズ、日々の支援の中からもニーズを客観的に分析し個別支援計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援者会議を行う事で職員同士が話し合い、利用者様の最善の利益を考慮した検討を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	作成された計画は全職員が見る事が出来るようになっており、支援につなげています。引き続き、計画の共有については会議等で行うように努めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		ツールは用いていませんが、日々の行動観察や家庭や学校の様子など情報共有をし確認し合っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		利用者様の状況を踏まえ必要な支援について具体的に設定し、支援の方向性を定めています。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		利用者様の要望に沿うように職員同士で相談しながら活動を検討しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		週に1度「運動の日」を設け公園などに行き楽しく活動しています。また、季節の制作は利用者様が興味を示すようなものを考えながら提供しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動と集団活動を組み合わせていませんが、個々に合った計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日のミーティングでその日の支援内容及び振り返りを行い職員間の情報共有をしています。支援内容や利用者様の記録を残し改善に努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		基本的には6ヶ月に1度の見直しを行っていますが、必要に応じて都度見直しをしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		利用者様が主体的に取り組み自己決定が出来るような支援や、公園へ行く、室内で過ごすなどの多様な遊びなど様々な活動を組み合わせ支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		利用者様の意見を積極的に聞き、行きたい場所、やりたい活動などを出来る限り実現し自己決定が出来る力を育む支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		医療との連携はとれていませんが、今後ニーズがあればお医者様のご意見を伺う等の連携を図っていきたくと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校メール（マチコミ等）などで情報が共有出来ている学校もある一方、情報共有・連絡調整が不足している学校もあります。事業所から積極的に情報を求めていきたいと思っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		保育所等とは連絡は取っていません。相談支援員さんやご家族からの情報をもとに支援に繋がっています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	卒業生や就労先の事業所からの相談はありませんが、必要に応じて情報を提供していきたいと思っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	今後、必要があれば参加していきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	計画的な交流は出来ていませんが、公園等で出かけた際には挨拶をしたり一緒に遊ぶこともあります。今後は地域のイベントに積極的に参加したいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		山武圏域自立支援協議会障害児部会に在籍し、積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や連絡帳等を活用し利用者様の様子をお伝えしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		自立支援協議会を通しての研修会などに参加のお誘いをしています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		丁寧な説明をする努力をしています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		契約時、面談時、送迎時などに保護者様の意思を伺っています。利用者様にも個々に意思の確認をしています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談には積極的に応じ助言や支援を心がけています。また相談しやすい環境作りにも努めています。相談内容によっては相談事業所など専門の機関につなげていけるよう支援していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者同士の交流の機会を設けることが出来ていません。平日開催となってしまいますが何度が集まれる機会を検討しています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情窓口を設け契約時にご説明させて頂いています。苦情に関しては、迅速かつ丁寧に対応するよう努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		「すずらん通信」を発行し活動内容をお伝えしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		十分注意して取り扱う様に徹底しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個々の適性に配慮した伝達方法で情報提供に努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	地域住民の方を招待はしていません。今後は地域住民の皆様が参加できるようなイベントの企画など、地域に開かれた事業運営に努めています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアル、BCPを作成し毎月避難訓練を実施しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時に成育歴票をご記入して頂き、確認をしています。薬が変わった際は保護者様からご連絡をいただき職員間で共有しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		契約時の児童票をもとに確認していますが、半年毎の面談時に再確認しています。職員がわかるように掲示し共有しています。医師の指示所ではなく保護者からの依頼で対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、点検、計画の見直しなどを通して、安全・安心な空間で支援していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		災害時の対応について、契約時にご説明をしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎日の振り返りの中で確認を行っています。ヒヤリハット事例は必ず報告書を作成し再発防止に向け話し合い共通理解をしています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待研修はオンライン研修を含め積極的に参加しています。虐待防止チェックリストを全職員で行い虐待に関して再認識をしています。引き続き定期的に研修は行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時や面談時に保護者様に説明をさせて頂き承諾を得ています。個別支援計画書に記載しています。	